

議員提案第53号

子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書の提出について

このことについて、次のとおり意見書を提出するものとする。

平成22年3月23日提出

新潟市議会議員

同  
同  
同  
同  
同  
同  
同  
同  
同  
同  
同

藤田 隆  
渡辺 仁  
青柳 正司  
下坂 忠彦  
串田 修平  
木村 文祐  
遠藤 哲  
渡辺 孝二  
小山 哲夫  
渡辺 有子  
本岡 良雄  
室橋 春季  
加藤 大弥  
小山 進

## 子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書

女性のがんである子宮頸がんの死亡率は高く、毎年約 15,000 人が発症し、約 3,500 人が亡くなっています。

子宮頸がんには、他のがんにはない特徴があります。1 つには、発症年齢が低いということであり、子宮頸がんの発症年齢層のピークは年々低年齢化しており、1978 年ころは 50 歳以降だったのに対し、1998 年には 30 代になるなど、20 代、30 代の若い女性の子宮頸がんが急増しています。

もう一つは、子宮頸がんの原因のほとんどが、ヒトパピローマ（HPV）による感染です。8 割近くの女性が一生のうちに HPV に感染するものの、感染した女性のすべてが発症するわけではなく、持続感染により子宮頸がんが発症するとされています。

子宮頸がんを予防するワクチンが開発され、日本でも昨年末に承認、販売され、接種が認められました。子宮頸がんはワクチンにより予防できる唯一のがんでもあります。

よって、国として子宮頸がん予防ワクチンの公費接種を早期に実施されることを要望します。

以上、地方自治法第 99 条の規定により、意見書を提出します。

平成 22 年 3 月 23 日

新潟市議会議員  
志田 常佳

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
厚生労働大臣

} あて